

別紙

出張報告

報告日 5年2月24日

会派名	平成会
報告者氏名	荒城 秀一
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究 (<input type="checkbox"/> 行政視察) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	日本自治創造学会研究大会参加聴講 1日目
日時	R4年5月19日 13:00 ~ R4年5月19日 17:30
場所 (会場)	一橋大学 学術総合センター 2階 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
調査項目等 ※研修会、各種 会議は記入不要	
概要	<p>学会理事長の藤原邦夫氏の挨拶の後、長島大臣の挨拶の後、 京都大学 [] 教授、経済産業省多田事務次官の講演と 聴講。休憩を挟み、(株)凡と土の代表取締役阿部裕志氏(株) カヤツ代表取締役柳澤大輔氏、慶応大学大学院 [] 准教授の2人のパネリストが司会を行った。</p> <p>講演3題は、各氏から現在取り組んでいるテーマについて話か り、パネリストからはパネリスト間の活動を通じて交流が あり、現実の成果や課題について議論が交わされた。 (別添資料参照)</p>
所感等	<p>長島大臣の講演では、国政を行はしめるべき政策を 述べた。[] 教授の講演からは、高度経済成長から今に至るまで を振り返るとともに、教授の描く、人口減少、成熟社会のデザ インについて勉強した。多田事務次官は現在経済省が取り組 んでいる政策を勉強した。豊富の資料も良かった。</p> <p>パネリストからは、事例も含めて、新しい地域づくりを学 習した。パネリスト3者の発想や着眼点、取り組みが 勉強になった。また、考え方や周囲との協力関係など、勉強 の機会も多かった。講演、パネリストの2つとも内容 のある勉強になった。聴講もあり、興く有意義の研修であった。</p>

別紙

出張報告

報告日 5年2月24日

会派名	平成会
報告者氏名	荒城新一
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究(<input type="checkbox"/> 行政視察) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	日本自治創造学会研究大会参加聴講 2日目
日時	R4年5月20日 10:00 ~ R4年5月20日 14:35
場所 (会場)	一橋大学学術総合センター 2階 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
調査項目等 ※研修会、各種 会議は記入不要	
概要	<p>朝日新聞ネットワ-報道本部の記者、千葉県知事熊谷俊人の講演の後、昼食を摂り富山県中野市市長、長崎県野口市長、滋賀県守口市長がパネリストとなり明治大学政経学部教授のコーディネーターの司会のもとパネリスカッションが行われた。</p> <p>記者は取材現場の体験を基に地域づくりのポイントとして、熊谷知事は自身の組長体験が得た、地方行政の要点を述べた。また、パネリスカッションは、3人の市長が実践を基に地域づくりの心得、議論を展開した。最後、教授が熊谷知事の経験を基に議論をまとめた。</p>
所感等	<p>記者は障壁のある長男を育てながら、その視点から取材、記事を書く、関連した地域づくりの要点を学ぶことができた。熊谷知事は、千葉市の議員市長と基礎的自治体の経験と県知事としての現在、立場から、新しい地方政治に対する取組を語り、向題意識も投げかけ、参考になる点が多かった。パネリスカッションでは、各々現職市長が実践について取り組むと資料とよく紹介、解説があり、実に参考になった。市民に地域創りに対する情熱を語ることも、刺激を受けた。2日間の研修を通じて多くを学ぶ機会には感謝している。また、有志者との交流も、今後の研究に役立つと感じた。</p>